

手順	項 目	作 業
1、	銘柄選択	東証1部の優良企業を20社決める。この中で売買を繰り返すのが目的。社長の顔がホームページに載っているのが前
	銘柄変更	カブドットコムで回帰トレンドが必ず上昇カーブにあること。下降になりそうな場合は入れ替える。
	新規銘柄検索	数年後の市場を予測した銘柄を、常にウォッチしておく。
2、	選択要因-1	最適指標(RCI、RSI、サイコロジカルライン、スキヤスティクス)が明確な時期を選択する。この4つが低位にある時のみ購入を検討する。
	業績をチェック	黒字、PER業界水準以下、PBR2以下が原則。四季報とポートフォリオランク(5以上)は必ずチェックする。
	選択要因-2	一目均衡表を設定し、月足、週足、日足の順で確認する。チャートが雲の上で、運行も雲の上ならば一目均衡表はこれ以上見ない。
	選択要因-3	ボリンジャーバンドで、株価水準を確認する。サポートしている移動平均線があれば、数値も変えてみる
	選択要因-4	移動平均線と押し目のサポート状況もここで確認する。移動平均線の日数も変えてみる。
3、	買値検討-1	上記までOKならば買値の選択に移る。まずは価格帯出来高を表示し、出来高の少ないエリアを選択する。
	買値検討-2	買値が決まった後で、KMラインと抵抗ラインを表示し第三者の意見として比べてみる。
	買値の最終チェック	回帰トレンドを確認し、FIT以上では絶対に指値を入れない
	指値の登録	板を見て、状況を確認してから指値を入れる。初動買いではなく、待ち伏せ買いに徹する。
4、	購入後	信用の場合は直ぐに現物に変更する。ケンミレとEXCELに登録する。
	売買基準	短期売買と優待目的により登録を換える。
	購入価格決定-3:押し目ライン	日足で見る。上昇トレンド銘柄は1/3押し、急騰銘柄は1/2押し、弱気なときは2/3押し。
	期限指定	ケンミレの指針、もしくは自分で平均を取る。
5、	売り価格の決定-1	利益は10%~15%を確保し、プラス手数料を差し引く。
	売り価格の決定-2:価格帯別出来	現在値の上に出来高が多いと上げ止まる可能性が高い。
	売り価格の決定-3:最適指標	上昇に入るまで待つ。
	売り価格の決定-4:ボリンジャー	過去の+ α 傾向ラインの傾向を見ておく。
	売り価格の決定-5:波動サーチ	悩んだときは使用する
	売り価格の決定-6:回帰トレンド	過去の+ α トレンドラインを見ておく。
	売り価格の決定-7:高値ロスカット	上昇につれて3%ロスカットを随時変更していく。
	ロスカット価格の決定	購入価格の10%OFFは、必ず逆指値を入れておく。
	期限指定	一目の波動周期、9,17,26,33,42,65とN&E&V計算との合わせ込みで、売り予定日を計算しておく。
	売買価格	平均上昇率、N&E&V計算に合致し、最適指標も売りになった頃に売れるようにする。